

つながるアート～こよみのよぶね 2007

2007. 冬至 **12.22** 土

6:00pm頃～8:00pm頃迄 (雨天順延 12/23)

長良川右岸プロムナードを中心とした河畔一帯

第2回 こよみのよぶね

市民ボランティアが制作した和紙と竹を使用した巨大な数字(暦)をモチーフとした行灯12個を屋形船に載せ、冬至の日に長良川に流します。また長良川右岸プロムナードや鞆鉤ひろばにて、関連イベントを実施します。

観覧場所



長良川右岸プロムナード 「こよみのよぶね」観覧場所
(歩行者専用道路) 6:00pm～8:00pm頃

あかり灯
ウォーク
同時開催!



運行スケジュール

*天候等の都合により内容が変更される場合もあります

- 6:00pm 出船 (鞆鉤観覧船事務所前) 右岸プロムナード側をゆっくりとお山下に向かって上ります 
- 6:30pm頃 お山下並び 12隻のこよみのよぶねが金華山の下に集結します
- 7:30pm頃 こよみのよぶね勢揃い 右岸プロムナード前にてこよみのよぶねのクライマックス!!  hego!!
- 8:00pm 終了 ゆく年来る年への想いをのせて、こよみのよぶねが去って行きます

- 夜半のイベントにつき防寒具の用意をお忘れなようお願いします
- イベント当日のお手伝いをしていただけるボランティアも募集しています。下記の〈お問い合わせ先〉まで連絡ください
- お感しの際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください

20 こよみのよぶねって何?

2006年秋、岐阜市出身のアーティスト・日比野克彦氏の大規模な展覧会が岐阜県美術館にて開催されたことをきっかけとし、アートで人々の心をつなぎ、岐阜の持つ魅力(DNA)を再発見するためのさまざまな事業が開催され、その中心的なボランティア・プロジェクトとして「こよみのよぶね」は始まりました。

「こよみのよぶね」は、地元の伝統文化産業である和紙と、地元で採取された竹を使用し、数字や干支をかたどった巨大な行灯を制作して鞆鉤観覧船の屋根に乗せ、冬至の日の夜、長良川に流すという事業です。

今年は第2回を迎え、岐阜市民の心のよりどころである「長良川」「金華山」という場の力を借りて岐阜の懐かしくも新しい「冬の風物詩」づくりに向け、人と人のつながりとともに地域資源の存在に「気づき、親しむ」きっかけ作りとなることもめざしています。

こよみのよぶねワークショップについて

12個のこよみ(暦=数字)行灯と、12個の干支行灯は、本年の7月末から公開ワークショップとして地道に制作されてきました。その他、パブリックスペースでの制作や、学校などへの出張ワークショップも行う中、地元の中学校や中心商店街主のグループ、施設職員グループなども、行灯制作を請け負ってくれました。

子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の方々の参加者の手によって、この「つながるアート」は、人と、自然と、場所と、文化と、そして時を紡いで、こよみ(暦)行灯に明かりを灯し、一年で一番夜が長い冬の日に、長良川を流れます。


31 こよみのよぶね 2007 実行委員会とは?!

アーティスト、プロデューサー、デザイナー、学生、会社員、建築家、職人、ホテル経営者、教員、行政などさまざまな職業のメンバーが「アートでつなぐまちづくり」を目指し結びつきました。

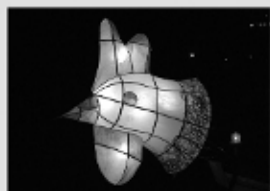
メンバーは100%ボランティアで、資金調達もゼロ資金から積み上げています。主要実行委員の他、数ヶ月にわたるワークショップに参加するワークショップ・サポーターによって日々の活動が行われています。

こよみのよぶね行灯製作期間: 2007年7月22日～12月21日 10:00am～5:00pm

「こよみのよぶね造船所」..... 県民文化ホール未来会館エントランスホール  制作活動 土・日・祝日

..... てつめいギャラリー(十六銀行旧徳明支店)  月曜休み

〈こよみのよぶねHTML〉 <http://www.dnaand.org/>



〈お問い合わせ先〉
岐阜市市民参画部市民参画政策室
TEL<058>265-4141 内線6153